

5月の園だより

《園長の言葉》

平成30年度 竜光保育園 第635号

新緑の青葉に清々しさを感じる季節となりました。園庭での子どもたちの「ダンゴムシ探し」もますます熱を帯びてきたようです。先日の「親子遠足」には多くの皆様のご参加を頂き有難うございました。お天気にも恵まれ、楽しい思い出の1つとなったことでしょう。

さて、今年度より当園では、[登園時の所持品の始末]を保護者並びに子どもたちをお願いしています。多少戸惑いもあったのではないかと思います。そのねらいとしては、まず、子どもたちに基本的な生活習慣を身につけ少しでも早く自立心の芽生えを促す事、もう一つが、効果的な所持品の始末を行う事で増える朝の外遊びの時間において、活発に身体を動かして脳を刺激し目覚めを良くする事。それにより高まる物事への集中力と意欲的な取り組み、さらには食欲増進から午睡へのスムーズな移行などがあります。

この中で特に重きを置いているのが【※自立心の芽生え】です。子どもたちは成長過程の中で、少しずつ大人の手(援助)から離れて、自分でできることが増えていきます。ただ、どのタイミングでどの程度の事を大人がサポートしたら良いのか、またどの程度任せたりするのが良いのかなど難しいところです。例えば、早く自分で何でも出来るようになって欲しいと願うあまりに何でも子ども任せにして、結果子どもの混乱を招いたり、対して、子どもの行動を待ちきれずに大人が大半を手伝ってしまうことにより、子どもがやろうとする意欲を摘み取ってしまうこともあります。どちらのケースも子どもたちの自立にはつながっていくのは難しいでしょう。まずは、毎日の持ち物のカバンの出し入れ等の基本的な生活習慣の身に付けから入っていかなくてはいいでしょうか。その作業体験を子どもたちと重ねながら、程良いタイミングをはかっていきましょう。その際、決して忘れてはいけないのが、いつもの事であっても「上手にできたね!」の子どもへの一言です。その一声が子どもたちに大きな自信と達成感を感じさせ、必ず次のステップへと向かう意欲となっていくはずですよ。

※国から新しく改定された『保育所保育指針』の中にも《幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)》がしめされ、その1つに自立心(身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようにする。)とあります。

5月の行事予定

- 5月8日(火) 体操教室
- 5月15日(火) 体操教室、身体測定
- 5月16日(水) 健康診断(第1回)
- 5月23日(水) お泊り保育(もりのいえ) ~24日(木) (さくら組参加)
- 5月25日(金) 誕生会
中旬 避難訓練
- 5月28日(月)~6月2日(土) 個人懇談会
- ☆6月16日(土) 保育参観・試食会

花まつり しゃか様のお誕生日



新しいアンパンマンの遊具にみんなおおはしゃぎ!

《先生の広場》 vol.13 ごとう なほ 先生



☆Q.1 行ってみたい場所は?

A. “タイ”です。「タイガーキングダム」というトラとふれあうことが出来る観光スポットに行ってみたくです。

☆Q.2 好きな食べ物は?

A. ゼリーです。中でもみかんが一番好きです。

☆Q.3 保育士になって良かったことは?

A. 毎日子どもたちの可愛い笑顔が見ることができ、元気をもらえることです。

みんなで作った《こいのぼり》



好天に恵まれた“到津の森公園”での遠足



おすすめ絵本のコーナー

「あなたがとってもかわいい」 作・絵：みやにし たつや
出版社：金の星社



ページを開く毎にアップで表れるいろいろな子どもの顔。その顔を見る毎にオーバーラップする我が子との思い出のシーン。最後のページをめくった後に思わずお子さまを“ぎゅっ”と抱きしめたいくなる、子どもへの愛しさが心に染み渡るような絵本です。是非ともお子様とごいっしょに!

「むしたちのえんそく」 作：得田 之久 絵：久住 卓也 出版社：童心社



“昆虫少年”として幼少期を過ごした作者が著した《むしたちのシリーズ》本の1巻で、林に住んでいる虫たちが池まで遠足にでかけるお話です。どの虫もとても可愛らしく楽しげに生き生きと描かれています。それぞれの虫の特性もさりげなく表されていて、図鑑を見ながら実物と比べると、いっそう興味が沸くはずですよ。虫が苦手な大人の皆さんもこれを読めば虫との距離が縮まるかな?